

試聴会・訪問記掲載

河口無線冬のオーディオ三昧報告(2014.12.27)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。今回はアナログ三昧とエアータイト・管球アンプレコードコンサートも併せて開催されていたので聴いてきました。開催要項は以下のとおりです。

1. 河口無線オーディオ三昧

2014年12月27日～2015年1月4日【3F ハイファイデリティ試聴室】

時間：PM1:00～PM5:00

【第一システム】



ウェストレイク スピーカーシステム BB10VF ¥4,244,400 (ペア)



ボルダー プリアンプ model810 ¥1,014,300



ボルダー モノラルパワーアンプ model850 ¥1,771,200 (ペア)



HEGEL CD プレーヤー CDP-2A ¥324,000

【第二システム】



B&W スピーカーシステム 800Diamond ¥3,672,000 (ペア)



ラックスマン プリアンプ C-900U ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900U ¥1,188,000



LUXMAN SACDプレーヤー D-08u ¥1,188,000

【第三システム】



マジコ スピーカーシステム Q1 ¥4,104,000 (ペア)



オクターブ 管球プリアンプ V110 ¥1,004,400



エソテリック SACD プレーヤー K-03X ¥972,000

【第四システム】



JBL スピーカーシステム DD67000 ¥6,480,000 (ペア)



ヴィオラ プリアンプ カデンツァ ¥2,700,000



ヴィオラ パワーアンプ シンフォニー ¥3,348,000



リン ネットワークオーディオプレーヤー AKURATE-DS-K ¥918,000

上記のように試聴室に豪華な4システムがあって順繰りに聴くことができます。

2. 河口無線アナログ三昧 【4F ハイフィデリティホール】

2014年12月27日~28日



HANIWA

PC オーディオでフルレンジスピーカーを聴く

LP レコードを 24/192 のハイレゾ音源で演奏



アナログ盤をオーディオインターフェースで 24bit192KHzWAV に取り込んで聴かせようという試みです。

3. 河口無線 エアータイト・管球アンプレコードコンサート

【4F ハイフィデリティホール】

2014年12月27日 時間 PM1:00～3:00



トランスローター ベルトドライブプレーヤー AVORIO ¥540,000



エアータイト 管球プリアンプ ATC-1 ¥410,400



エアータイト 管球パワーアンプ ATM-300 (出力管別売り) ¥626,400



タンノイ スピーカーシステム ターンベリ/GR ¥972,000 (ペア)

上記のようにエアータイトのアンプで HANIWA のフルレンジとタンノイを駆動してアナログを聴かせるデモが行われていました。

4. アナログ三昧 とエアータイト・管球アンプレコードコンサート

まず、最初に 4F ハイフィデリティホールのアナログ三昧 とエアータイト・管球アンプレコードコンサートの試聴室に向かいました。オーナーのお二人から懇切に説明していただき、主旨はアナログの良さをアピールしたいとのことでした。いろいろな銘盤と持参した盤を聴かせていただき、それらをすぐに HDC-A01 で 24bit192KHzWAV に取り込んで聴かせていただきました。残念ながらスピーカーが HANIWA の小型フルレンジ HSP1C06 でしたので、銘盤のもつアナログらしい品位とか、24bit192KHzWAV に取り込んだとき、それらの音質がどのように維持されているか、理解しかねるところがありました。銘盤のイコライザーカーブの問題とか、PCM に対する DSD の位置づけとか議論をさせていただきましたが、噛み合わないまま次の試聴に向かいました。

5. 冬のオーディオ三昧

3F のオーディオ三昧の試聴室では第一システムで Jazz がかかっていたので、店員の方をお願いして、持参したディスコグラフィーのページでも紹介したチェンバロの DSD 録音の CD を聴かせていただきました。

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2014/03/1aca3addd55d611396be08eabff004ad.pdf>

上掲の第一システム→第二システム→第三システムと聴き比べていくに従い、チェンバロの生音が蘇ってきました。さらに第三システムのデモ用に準備されていたアンネ・ゾフィー・フォン・オッターのヘンデルやモンテヴェルディのアリア集を聴くと、CD でありながら音場感も楽器や声の質感も申し分ないものでした。



本システムでは、オクターブのアンプでマジコの Q1 をドライブしていましたが、あらためてマジコの Q1 の実力を評価できました。このマジコの Q1 は常設はしておらず、このオーディオ三昧のために借用したものであるということでしたが、これを聴けたのは幸いです。

アナログ三昧の試聴でも、このスピーカーを使っていれば印象は大きく変わっていたと思います。当日の各試聴室の写真は 12 月 27 日の研究室日誌に掲載しています。

http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/?page_id=21